

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月09日

計画の名称	新潟駅周辺地区の賑わいと活力を創出する交通環境整備												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	新潟市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道で分断されている新潟駅周辺地区の南北市街地の一体的利用を促進する</li> <li>・鉄道駅周辺地区の賑わいの創出を図るため、移動しやすい交通体系を構築する</li> <li>・交通環境の充実により交通の円滑化を図り、交流・連携を強化する</li> </ul>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,381	A	2,375	B	0	C	6	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.25	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	・新潟駅周辺地区(5箇所)における歩行者通行者数を29,171人から30,338人に増加 歩行者通行量調査(新潟市商店街連盟調査)における新潟駅周辺地区の5箇所の調査結果により合計値を算出	29171人	人	30338人
2	・交通環境に関する自動車・自転車・バス・タクシー・電車・歩行空間の安全性の6項目の全回答割合に対する「満足」・「やや満足」の回答割合を38%から40%に増加 市政世論調査(広聴相談課調査)における移動しやすいまちづくり(中央区)の交通環境に係る6項目の全回答割合に対する「満足」・「やや満足」の回答割合の平均値を算出	38%	%	40%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	新潟市	直接	新潟市	S街路	改築	(都)新潟鳥屋野線	バイパス(0.8km)	新潟市						1,083	-		
	A01-002	街路	一般	新潟市	直接	新潟市	S街路	改築	(都)新潟駅西線	道路新設(0.4km)	新潟市						188	-		
	A01-003	街路	一般	新潟市	直接	新潟市	S街路	改築	(都)出来島上木戸線	現道拡幅(1.2km)	新潟市						988	-		
	A01-004	道路	一般	新潟市	直接	新潟市	市町村 道	交安	南2 156号ほか	歩道整備	新潟市						71	-		
	A01-005	道路	一般	新潟市	直接	新潟市	市町村 道	交安	新潟駅東線	歩道整備(0.1km)	新潟市						45	-		
												小計						2,375		
												合計						2,375		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	C01-001	道路	一般	新潟市	直接	新潟市	市町村	交安	南2 156号ほか	歩道整備	新潟市						6	-		
		道路整備（（都）新潟駅西線）とあわせて、歩行者の安全でスムーズな移動空間の確保を図る。																		
											小計						6			
											合計						6			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
新潟市大規模建設事業評価監視委員会において、当該社会資本総合整備計画の事後評価を行う。	令和2年1月24日
	公表の方法 新潟市のホームページによる
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画期間内において事業が着実に推進し、新潟鳥屋野線や南2-156号ほかの供用開始により、交通の円滑化や安全性及び利便性の向上が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	新潟鳥屋野線の整備により、今までは狭隘な踏切を通行していた交通が転換されるなど、鉄道を挟んだ南北市街地の一体化によるアクセス機能の向上や自動車交通と歩行者、自転車の分離による安全性、快適性の向上が図られた。 南2-156号ほかの整備により、南口広場と一体となった快適な歩行空間が創出され、回遊性及び高速バス乗降場のバス待ち環境が向上した。
特記事項（今後の方針等）	
新潟駅周辺地区の賑わいの創出を図るため、引き続き、道路整備や利用環境整備を推進し、交通環境の充実により交流・連携を強化する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	新潟駅周辺地区における歩行者通行者数	
	最終目標値	30338人
2	最終実績値	26418人
	市政世論調査における交通環境に関する評価項目の回答割合	
	最終目標値	40%
	最終実績値	37%